

稲作だより

～第1号 育苗準備編～

気象変動に強い米づくりは健苗育成から！ 良いスタートを切りましょう

1 春作業の予定を立てましょう

移植予定日から逆算し、計画的に種子予措や播種作業を行いましょう。

今年も種子予措～育苗期間は高温となる予報です。

葉齢展開が早まることを考慮し、ムリムダのない作業計画を立てましょう。

作業スケジュールの目安 <種籾の準備から移植まで>

苗種 (葉齢)	播種量 芽出籾(g/箱)	浸種開始	浸種期間	催芽	播種日	育苗期間	移植時期
中苗 (3.5葉)	100～140	4月9日	積算水温 120℃ 12℃×10日	4月19日	4月20日	30～35日	5月20日
稚苗 (2.5葉)	160～200	4月19日		4月29日	4月30日	20～25日	
高密度播種苗 (2.0葉)	250	4月24日		5月4日	5月5日	15日	

2 種子消毒

○薬剤処理

- 農薬ラベル等で使用濃度や浸漬時間、浸漬後の風乾の有無などを確認しましょう。
- 薬液量：種籾＝1：1**。余裕を持った種子量で処理しましょう。
- 浸漬時の温度は10℃以上**。薬液の温度が低すぎると効果が低下します。
- 薬液に浸漬したら籾袋をゆすり、薬液を中心部まで十分浸透させましょう。

○温湯消毒(うるち品種のみ)

- 温湯：種籾＝20L：10kg**
- 消毒時の温度は**58℃20分**または**60℃15分**（専用機械の場合）
- 温湯に浸漬したら籾袋をゆすり、中心部までしっかり温度をかけましょう。
- 処理後は必ず**清潔な場所で保管**しましょう。

3 浸種

- 浸種水温は、10℃～15℃**。

浸種初日は適温になるように水温を調整し、低水温に注意する。

また、15℃を超えると、ばか苗病苗が増えやすくなります。

- 水量は種籾の2倍量以上**とし、水道水等きれいな水を使用します。

2～3日おきに水交換、種籾の上下入替え（攪拌）を行いましょう。

品種別浸種日数の目安

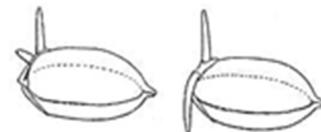
品 種 名	積算水温	浸 種 日 数	
		水温10℃	水温12℃
つや姫、雪若丸、はえぬき ひとめぼれ、あきたこまち コシヒカリ	120℃	12日	10日
ササニシキ、ヒメノモチ こゆきもち	100℃	10日	9日

4 催芽

- 催芽温度は 30～32℃。
芽(鞘葉)と根が 1 mm 出たハト胸状態にします(右図)。
- 催芽終了の目安は 9 割以上の芽が切れたタイミング。
十分に浸種した粳であれば、約 20 時間でハト胸状態となります。



○ハト胸状態



×伸ばしすぎの状態

5 ばか苗病対策<<重要>>

令和 7 年はばか苗病が多発した圃場が多くありました。
ばか苗病菌が育苗箱や育苗資材、稲わら、粳殻、米ぬか、乾燥調製時の粉じんに残っている可能性が高く、今年の生育環境における菌密度は高いと考えられます。
下記チェックリストを活用し、ばか苗病対策をしっかりと行いましょう。

ばか苗病対策の 3 本柱

- 1 毎年種子を更新する
- 2 作業環境、育苗器具機材からのばか苗病感染をゼロにする
- 3 各種子消毒方法の特徴を理解した上で「化学農薬」「生物農薬」「温湯浸法」「温湯浸法+生物農薬」のいずれかの方法で確実に防除を行う

ばか苗病対策チェックリスト

作業	項目	確認内容	チェック
作業環境の衛生管理	作業場所	作業場所・育苗施設に稲わら、粳殻、米ぬか、乾燥調製時の粉じんがない。	<input type="checkbox"/>
	育苗器具・機材	育苗器具機材の洗浄・消毒を行った。	<input type="checkbox"/>
種子準備	種子更新	種子は採取圃産のものを使用している。	<input type="checkbox"/>
	袋詰め	種子袋に余裕を持たせて種子を詰めている(目安5kg)。	<input type="checkbox"/>
種子消毒(化学農薬)	薬剤の選択	耐性菌の出ていない薬剤を選択している	<input type="checkbox"/>
	使用方法	使用方法をラベル等で確認して適切に使用した。	<input type="checkbox"/>
種子消毒(生物農薬)	使用方法	薬液の水温は10℃以上かつ、エコホープDJは30℃未満、タフブロックは35℃未満である。	<input type="checkbox"/>
		化学農薬による種子消毒と組み合わせていない。	<input type="checkbox"/>
種子消毒(温湯浸法)	処理温度	(専用機械の場合) 58℃20分又は60℃15分 (保温機能がない場合) 60℃20分又は62℃15分	<input type="checkbox"/>
	処理後の管理	清潔な場所で保管し、処理前と同じ場所に置かない。 直ちに使用しない場合は通風乾燥を行い、粳水分を15%まで低下させてから保管している。	<input type="checkbox"/>
浸種～出芽	浸種水温	水温は10℃以上15℃未満である	<input type="checkbox"/>
	水交換	清潔な水を使用し、2～3日に一回水交換を行っている。	<input type="checkbox"/>
	催芽温度	水温は30～32℃である。	<input type="checkbox"/>
	出芽温度	30～32℃であり、出芽期間は長くなりすぎている。	<input type="checkbox"/>
育苗	育苗資材	培土や置床に生粳殻、粳殻くん炭、わら等を使用していない。	<input type="checkbox"/>

ばか苗病菌を持ち込まない！増やさない！防除する！

【発行】 村山総合支庁北村山農業技術普及課 TEL0237-47-8634,8635,8636